

インターンシップ（学外実習）に関する報告書

平成 29・30 年度

沼津工業高等専門学校

初版 R1 年 7 月 10 日
改定 R1 年 10 月 7 日
(改定の記録は p.29)

目次

1. インターンシップの概要（実施数など）	3
2. インターンシップ情報の学内周知状況	4
3. インターンシップ事前研修	5
4. インターンシップ受入機関からのアンケート集計結果	6
5. 記述式質問 7, 8, 9 のまとめ	8
6. インターンシップ参加学生からのアンケート集計結果	16
7. 学生からの意見・感想	19
8. 3年生対象のインターンシップ説明会	24
9. インターンシップの総括	25
付録 1. 「静大発“ふじのくに”創生プラン」事業における沼津高専の取組み	26
付録 2. 令和1年度（平成31年度）インターンシップスケジュール（予定）	27
付録 3. 学外実習生学生心得	28
改定の記録	29

1. インターンシップの概要（実施数など）

文科省によると、我が国のインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」だとされている。そのうちのある条件を満たしたものを、沼津高専では「学外実習」という自由選択科目として単位化している。この文書は学外の方も読む可能性があることからインターンシップという用語を用いる。

図1に、平成25年度から平成30年度の間にあたる、沼津高専本科からインターンシップへの参加数を示す。M、E、D、S、Cはそれぞれ、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科、物質工学科の4年生である。一度の実施は、受け入れ機関によって1週間だったり2週間だったりする。多くはないが、学生によっては1週間の実施を2回実施している。なお、平成25年度の「その他」は専攻科である。専攻科のインターンシップの実施期間は平成25年度までは本科と同様に夏休みの1・2週間であったが、平成26年度からは後期の16週間の実施に変更された。また、平成28年度の「その他」は5年生による実施である。

同じ図内に、学生係に届けられた学校公募の企業数も示す。学生の多くは学校公募のインターンシップに応募している。1社が複数名を受け入れることがあるので、「受け入れ可能学生数」は更に大きな数である。更に加えて、学生によっては学内公募でない企業に応募することがある。それは例えばWeb上で見つけた一般公募や、特定の学科に向けて送られてきた学科応募である。学生は、行き先をえり好みしなければ、インターンシップの参加自体は容易に計画できる条件が整っている。

年度進行から全体的な傾向を見ると、平成28年度を除けば、実施数は年ごとに増え続けている。なお、学生に許された就職活動のルールは平成26年度までは特別な縛りはなかったが、平成27年度は「8月から試験」、平成28年度からは「6月から試験」という変革があったということも、募集数に影響を与えていると思われる。

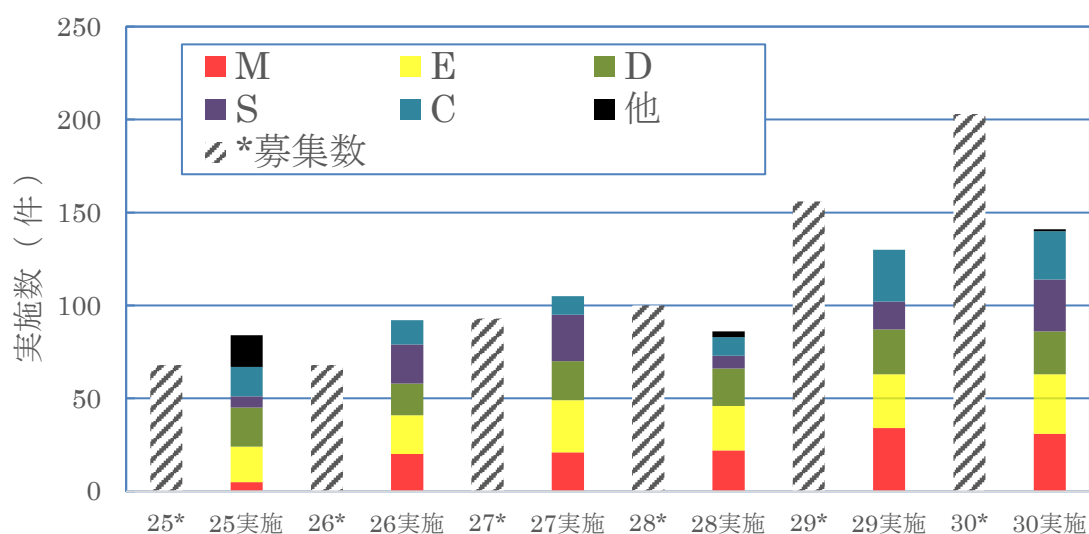


図1 年度別実施数と募集数

2. インターンシップ情報の学内周知状況

インターンシップに関して、企業が募集してから依頼が届くまでの学内の状況をざっくりと示したのが図 2 である。図中の「学内サーバ Moodle」は、無料の e-Learning プラットフォームであり、学生や教員が情報共有のために活用している。Moodle 内に作られる各種情報の例を以下に示す：

- ・ インターンシップに関する規則
インターンシップに関する関係書類
- ・ 各年度のインターンシップ募集企業（今年度分も含む）
- ・ 各年度の実施実績（今年度分が掲載されるのは夏休み明け）
- ・ 報告書（基本的に毎年作られる）
- ・ 学生アンケート打ち込み画面と、各年度の集計
- ・ など

沼津高専で一般的なインターンシップの情報は、学生係宛に送られる募集要項である。その情報は学内サーバに格納され、4 月早々から学生はその情報を閲覧できる。学生は担任と相談しながら好みの会社を選び、履歴書を作るなどの事務手続きも進めてインターンシップに応募する。

インターンシップの学生指導を担当するのはそのクラス担任である。第四学年の担任は毎年顔ぶれが変わるため、毎年、始業式が始まる前に、特に事務手続きやなどの学生指導の進め方などの再確認のためインターンシップ指導者の打ち合わせ会を実施し、間違いのない指導に努めている。（2017 年度は 2017 年 3 月 28 日、2018 年度は 2018 年 4 月 5 日）。

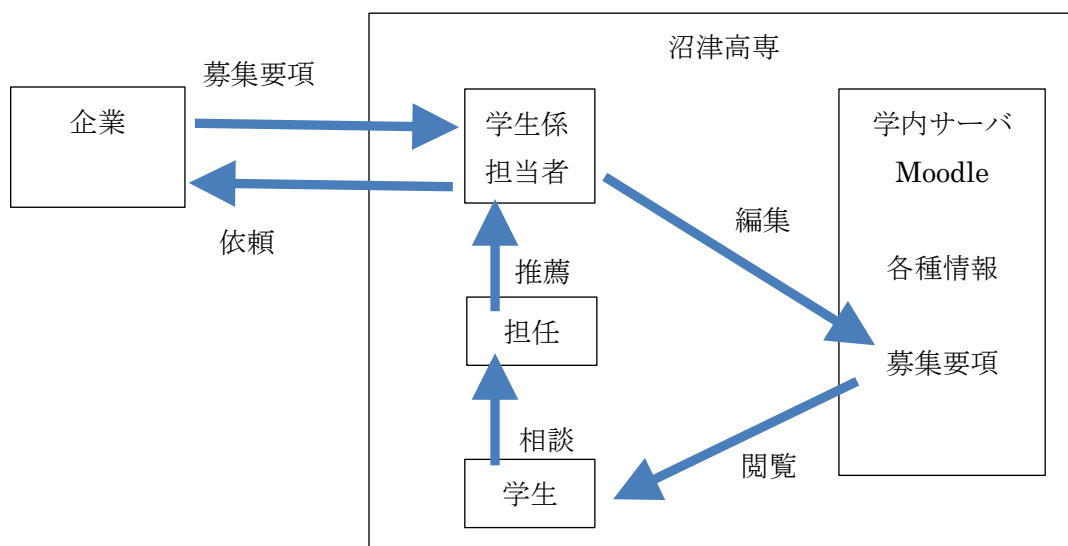


図 2 募集の情報の学内伝達

3. インターンシップ事前研修

インターンシップへ参加が決定した学生および、参加を希望する全学生に対して、下記要領で夏休み前にインターンシップ事前研修会を行っている：

1) 日時：2017年7月5日（水）14：50～15：50

または

1) 日時：2018年7月18日（水）14：50～15：50

2) 場所：視聴覚教室

3) 内容：

14：50 研修会に参加するにあたって（インターンシップ担当教員）

14：55 諸注意（教務主事）

15：00 ガイダンス（インターンシップ担当教員）

15：30 質疑・応答

15：40 終了

4) 配布物：なし

上記3)の内容を以下にまとめる。

<研修会に参加するにあたって>

インターンシップは、進路を決める重要なイベントの一つである。重要な話がたくさんあるので、聞き漏らしの無いように、集中して話を聞くこと。

<諸注意>

今日の参加者は、そのほとんどが就職希望者である。将来のために会社での仕事を体験するのは、ミスマッチを防ぐためにも大切なこと。インターンシップへは、沼津高専の代表として参加することを忘れない。挨拶や服装、態度や行動に注意し、学生らしく振る舞う。勝手な行動は慎む。来年度の就職につなげて欲しい。

<ガイダンス>

① 知的財産を守る

② 平成 27 年度企業アンケートの紹介

③ インターンシップ実施までにやるべき事

④ 参加時の持ち物

⑤ インターンシップ参加までの受入機関との連絡における注意事項

⑥ インターンシップ参加時の注意事項

⑦ ビジネスマナー、挨拶の仕方

⑧ その他の心構え

4. インターンシップ受入機関からのアンケート集計結果

例年、本校インターンシップを受け入れて下さった機関に対し、下記のアンケートをお願いしている。この章では、その結果と注目点をまとめる。

沼津高専のインターンシップに関するアンケート回答用紙
 貴社名 _____ 所属部署名 _____
 記入者名 _____ E-mail _____

質問1. 記入者の方は、インターンシップにはどのように関わりましたか？
 →1.人事課系（主に手続きや企画を担当）、2.現場系（主に学生の直接指導を担当）

（5択で回答）

質問2. 本校から参加した学生は、実習に積極的でしたか？（複数名参加の場合は平均値）
 →1.非常に積極的、2.積極的、3.普通、4.消極的、5.非常に消極的

質問3. 本校から参加した学生の能力は、高いと感じましたか？
 →1.非常に高い、2.高い、3.普通、4.低い、5.非常に低い

質問4. もし来年度も、本校の学生が御社を希望した場合、受け入れて頂けますか？
 →1.ぜひに、2.希望があれば、3.検討したい、4.難しい、5.遠慮したい

質問5. 学校側の、インターンシップに関する対応はどう感じますか？
 →1.非常に丁寧、2.満足、3.普通、4.不十分、5.改善を希望

質問6. インターンシップの企業としてのメリットは感じますか？
 →1.大いにある、2.多少ある、3.学生による、4.あまりない、5.全くない

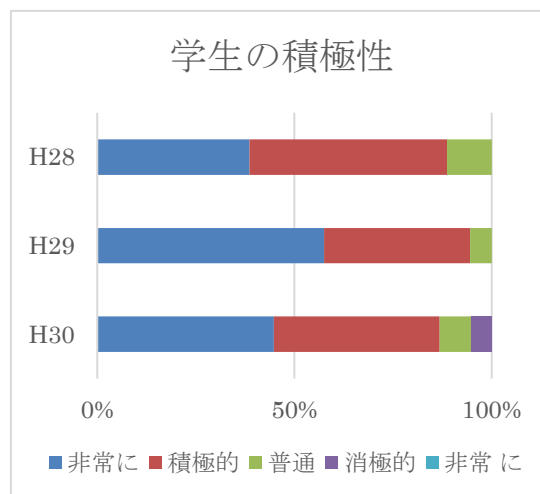
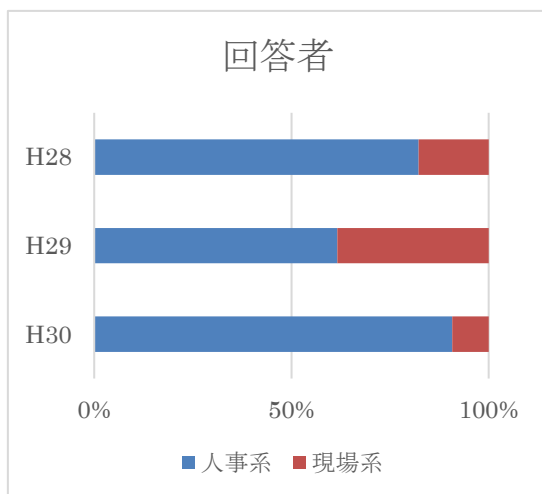
（以下文章形式）

質問7. 今後、インターンシップに参加する学生に伝えたい事があれば、お書き下さい。

質問8. インターンシップ実施に関して、ご要望・ご質問がございましたらお書き下さい。

質問9. その他何かございましたら、ご自由にお書き下さい。

ご協力いただきありがとうございます。
 お手数ですが、E-mail または、FAX にてご返送いただくと幸いです。



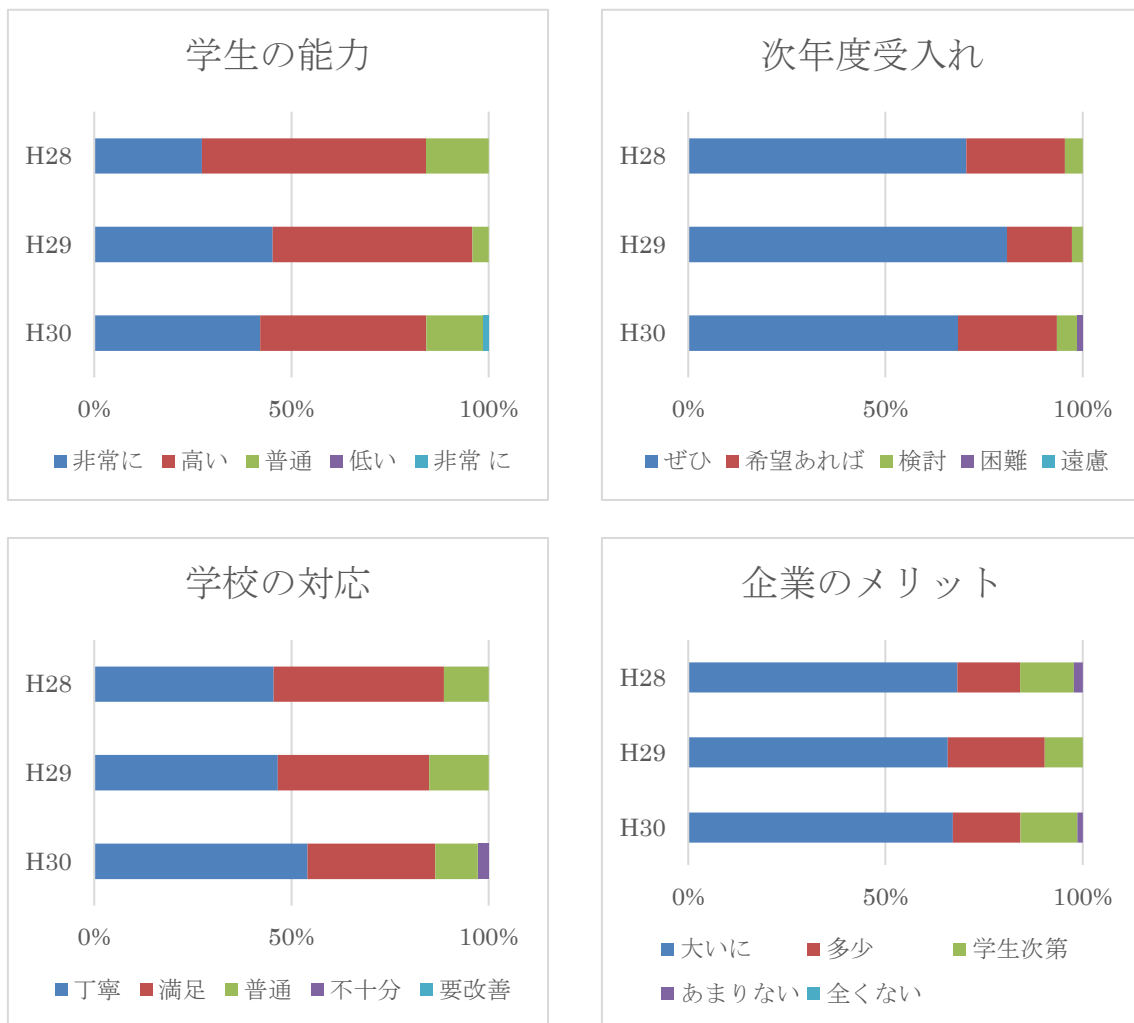


図3 企業から回答を頂いた、インターンシップのアンケート

これらのデータより分ることを以下に述べる。

- (1) 全般的には企業から好意的に受け入れられていると思われる。
- (2) その一方で、一部のインターンシップに厳しい評価があったことには注意が必要である。厳しい評価の一つは、学生のやる気や能力に「普通」とした回答である。わざわざ企業に行くのだから少なくともやる気については「積極的」以上の評価を頂きたい。
- (3) 中でも平成30年度のインターンシップは非常に厳しい評価を頂いたものがあつた。それは
 - ・学生の取組について2名の「消極的」
 - ・学生の能力について1名の「非常に低い」（「低い」ではない）
 - ・次年度の受け入れについて1件の「困難」
 - ・学校の対応について1件の「不十分」
 である。

これは、5件の回答によるものではなく、2件の回答の中に複数の厳しい評価が集まったことが原因である。

その2件のうちの1件は、平成29年度にもインターンシップがあつて、その際は良好な回答を頂いていた。また、もう1件は平成30年度に複数の学生受け入れがあつて、そのうちの一人の学生に関しての評価であつた。

このことから、こうした厳しい評価を頂いた原因としては、

- ・学生の積極性
- ・学生の能力を事前に把握できていれば（学生の対応に関して）

だと言える。今後こうしたことが無いように我々は真摯に学生教育に向き合う必要がある。

5. 記述式質問7, 8, 9のまとめ

企業に回答を頂いたアンケートのうちの3項目は、記述式である。それらを「意味的に」まとめ、件数の多い順に並べたものを以下に示す。同様の回答が複数ある場合は、行の最初にその件数を記す。

なお、質問7は「インターンシップに参加する学生に伝えたいこと」、質問8は「インターンシップ実施に関して、要望・質問は?」、質問9は「その他なにかありましたら」であつた。質問9の内容は基本的に学校に向けたものが多かつたので、基本的には質問8に併せて分類したが、一部の回答は質問7併せた。

質問7. インターンシップに参加する学生に伝えたいことは?

	29	30	年度 / 項目
姿勢	17件	8件	◇参加するなら積極的に（挨拶や質問等とる事。またお話しする事）（社員と）（学生どうし）
	6件	2件	◇参加目的を明確にしてください
	○		◇自ら行動することで成果が異なります。 ◇メモ帳を持参し必要に応じてメモを取ってください。 ◇インターンシップ受講生は、お客様ではないことを承知しておいてください。 ◇企業側からの連絡に対してしっかりレスポンスしてください。 ◇学校の勉強に励むのはとても大切なことですが、学校の勉強以外にも自分が好きなことや興味があることにも目を向けられるようになると良いと思います。 ◇単位取得だけが目的としたら残念。
		○	◇東京旅行気分で来られる事のないように！（御校の学生ではないが） ◇大きな挨拶など基本的な行動が大事です（第一印象が損）
事前	4件	3件	◇事前に弊社に関して事前調査すると良いです（たとえばHPを一読する）
	2件	1件	◇事前に学生の希望が分かれば、内容を微調整します。
	1件		◇事前に学生の能力が分かれば、内容を微調整します。

学習 項目	10 件	11 件	◇現場を見てこそわかることを学んでほしい（技術の事、さらには会社組織、社会の事）
	○		2 件◇働く意識を身に付けてほしい ◇社会人として大切なことを学んでほしい ◇コミュニケーション能力を更に向上させてください
		○	2 件◇当業界や、当社の業務について理解が深まればと思います 4 件◇幅広い業務に興味を広げてほしい。（例えば、自分が専攻している学問の延長戦の業務に集中しないでほしい） ◇エンジニアの考え方を学んでほしい ◇学業の一環のみならず、社会人としてのイメージを待てる場となつてほしい。 ◇多くの業務で不可欠な、話を聞く姿勢や受け答え、礼儀を学んでいただきたい。 ◇インターンシップは、先輩から生の声を聞ける場でもある。
将来	15 件	4 件	◇この体験を将来に役立ててください
選定 と 受入	4 件	6 件	◇当機関の業務に関心のある学生の皆様のご参会をお待ちしております。
	○		◇企業選びはブランドや規模ではなく、自分がやりたいことで選ぶことをお勧めします。
		○	◇小さな企業で体験すると、大手とは異なって、担当者との接触のみでなく経営層とも話ができるから面白いですよ。 ◇モノづくりが好きな学生さんには是非ご参加いただきたい。
その他	○		◇インターンシップは、将来の進路を決める上で貴重な情報源となりますので、是非参加するようにして下さい。 ◇インターンシップで体験できるのは当社の一部であることを承知しておいてください。 ◇今年は技術者としての好奇心を感じられと共に、しっかり発言できていたと思います。 ◇当社は様々な部門で受け入れ可能です。
		○	◇学生ならではの視点で意見頂けたことに感謝しております。 ◇本インターンシップはグループ実習が中心となるので、メンバーとのチームワークが重要となる。得意とする技術・経験を活かしつつメンバーとのコミュニケーションを意識して主体的に参加してほしい。 ◇今回の参加者からは「働く」というイメージを深められた、「充実した 5 日間だった」と好評でした。皆様ぜひご応募くださいとお伝えください。 ◇普段から学校内外の様々な活動に参加して異なる立場の人と初めて接する状況下においても自身の知的好奇心や感性を総動員してコミュニケーションできるような基本的な能力を養ってほしい。 ◇就職時にぜひ弊社を検討してほしい。 2 件◇特にありません

質問 8. インターンシップ実施に関して、要望・質問は？（質問 9. その他なにかありましたら。）

	29	30	年度 / 項目
満足?	1 件	21 件	特にございません。（十分満足しています？）
歓迎	26 件	27 件	◇よろしくお願ひします。（来年も受け入れます）
	○		◇よろしくお願ひします。来年は先着順で受け入れます

要項 作り	○	<p>2件◇当社へのご要望がありましたらお聞かせください。 ◇交通費や宿泊代等、企業側としてどれ位負担してよいものか教えていただきたい。</p>
	○	<p>◇当社は高専生のインターンシップを始めてまだ間もないことから、学生さんや先生方のご要望に沿えてない部分もあるかもしれません。その際は遠慮なくご連絡ください。 ◇弊社のインターンシップや対応等に関しまして、ご要望がございましたらご連絡ください。 ◇最終日の報告会において、もう少し工場の設備を見学したかったとの貴重なご意見をいただきました。来年度のプログラムではその意見を反映させ、さらに充実させた実習内容へと改善していきたいと思っております。貴校からの参加を是非お待ちしておりますので、よろしく願いいたします。 ◇インターンシップ制度を通じて適性を見極めて就職後、即戦力として活躍できるような実効的な仕組みを学校と企業間で作り上げていかねばならないと思っております。</p>
実施 時期	○	<p>◇インターンシップ受け入れ案内を出す時期、締切時期で望ましい日程がありましたらご教示ください。 ◇貴校に対していつ頃お声をかけていただくのが適切か？をご教示いただきたいです。 ◇次年度の夏休み期間についてご教示ください。 ◇学生の皆様にとって、夏季インターンシップの参加目的、最も参加しやすい期間など生の声をご教示戴ければありがたいです。 ◇貴校でインターンシップ先を選定する時期となりましたら、御連絡いただくと幸いです。</p>
	○	<p>◇インターンシップの募集の通知や案内のタイミングで早いとか遅いなどありましたらご連絡いただけますと幸いです。</p>
実施 期間	○	<p>◇実習期間5日間は本当に短すぎると思いました。最低でも2週間はほしいと思っております。しかしながら、5日間でも当社の開発製品を見て、触って、ある程度は理解してくれて良かったと思っております。 ◇今回2週間と言う期間でしたが、業務を体験して戴く期間としては短いのでは？と感じます。期間に関して多少融通が利くと良いのではないかと思います。</p>
学生 への アピ ールの 機会	○	<p>◇今後もマッチング会を開催して頂きたい。インターンシップ先の選択として、より多くの情報を伝える機会是有効だと思われま す。 ◇今回参加いただいた学生が編入生だったため、昨年11月に実施したマッチング会に参加した学生と違い当社の業務内容等への理解が低い状態での参加でした。 例えば4月以降でも再度説明会（マッチング会）の機会をいただければ個別にでもご説明に伺いますので、よろしく願い致します。 ◇学内でインターンシップ向けのイベントを開催される際は是非お声がけ下さい。 ◇他校ですが、入社企業・インターンシップ受入企業には学内企業説明会への優先に参加できるような取り組みがあり、そのような会にお声掛けいただくと幸いです。</p>
	○	<p>◇インターンシップに限らず、当社の魅力を貴校にも発信していきたいと熱望しております。インターンシップマッチング会の他にも、貴校訪問の上、学生の皆様と接する機会を弊社にもお与え下さいませ様よろしく願い申し上げます。 ◇企業説明会の機会をいただくとありがたいです。 ◇インターンシップマッチング会への参加を希望致します。</p>

学生の選定	○	<p>◇貴高専で複数名の応募者がある場合、弊社への就職に関心を寄せる学生を選抜頂けることを希望致します。</p> <p>◇次年度、就職を希望している学生を優先して欲しい！</p> <p>◇参加した学生さんは2名とも同じ学科だった。次年度は別学科の学生さんも参加して欲しい。</p> <p>◇実習課題に興味を持つ学生は、できるだけ受け入れたいと思っています。</p>
	○	<p>◇就職先の1つとしてフィールドサービスエンジニアを真剣に考えている学生の皆さんに是非参加いただきたいです。</p> <p>◇弊社の「ものづくり」と「品質」へのこだわりの場へ学生をお導き下さい。</p> <p>◇自分自身から積極的にコミュニケーションの取れる学生に今後も参加いただきたいです。</p>
学生の情報状況把握	○	<p>◇弊社はソフト開発会社ですので、インターンシップ申し込み時に開発言語知識の有無とある場合はどの言語かが分かれますと、進め方をもう少し工夫できるかもしれません。</p> <p>◇今回は該当しませんでした。注意を必要とする持病や健康面、食事を提供する上で食品のアレルギーなどがあれば、事前に情報を頂きたいと思っております。</p> <p>◇事前にどういった実習を行いたいかを具体的にお知らせいただければ学生にとってより充実したインターンシップになると思います。</p> <p>◇学生がどんな仕事に興味を持っているか、より具体的なプロフィールがあると良い。</p>
	○	<p>◇弊社の場合、インターンシップの中で実際のプログラミング作業などを行っておりますが、参加する学生さんのスキルによって作業内容に幅が出てきてしまいます。可能であれば、事前に学生さんに対してヒアリングシート（インターンシップ履歴書などでは確認できない内容など）の記入などをお願いして、もう少し参加者に寄り添った形での実務体験を検討したいと考えておりますがいかがでしょうか。</p> <p>◇作業服や安全靴を貸与する場合、事前にサイズを連絡頂けると助かります。</p> <p>◇インターンシップ実施前に学生がどのような体験をしたいか具体的に知りたいです。</p> <p>◇企業へ訪問した際にどのような仕事をしてみたいか事前におけると良い。</p> <p>◇インターン学生が何を学びたいか。自社がどんな対応が出来るのか事前ミーティングがあっても良い</p>
事務	○	<p>◇事務局との連携がもう少し密にできたほうがよかった。初めての受入と県西部と言う距離の問題があり、受入までの期間に連絡が無かったことで、最終調整にあわてた。</p>
	○	<p>◇丁寧なご対応ありがとうございました。</p> <p>◇インターンシップ後に提出しております証明書ですが、学科、氏名、期間等、生徒様が記入できる所は埋めてから、渡して欲しいです。非常に手間となっております。</p>
教員	○	<p>◇先生の見学のご依頼に応じられず申し訳ありませんでした。原則的に学生以外のご見学はご希望に添えない場合もありますのでご了承下さい。</p> <p>◇担当教員の先生には遠方よりご来社頂きましてありがとうございました。</p>
	○	<p>◇今年は学生3名を受入期間中に1名の教授が来訪され有意義な情報交換ができました。</p>

事後の様子	○	<p>◇インターンシップ実施後に、報告会のようなものはございますか？ もしあれば、その様子を写真でお送り頂きたいと思います。</p> <p>◇実施後、参加後の反応や意見・希望などをまとめているようであれば、受入企業側にもできる範囲での情報を頂けると何かの形で次回に生かせると思います。また、そこから見えてくる自社の問題点や改善点などの参考にもなると考えております。</p> <p>◇当社もインターンシップの受入が久しぶりであったこともあり、逆に学生様からの反応を戴きたいと思います。良い面だけでなく、改善内容を入れて戴けると今後の受入に役立ちますので、よろしく願いいたします。</p>
	○	<p>◇実習後の学生の率直なご意見を伺えると幸いです。(インターン内容へのご意見、企業、受入部署の印象等)</p> <p>◇弊社インターンシップをより良いものにするため、インターンシップに参加してくださった学生の弊社への感想・要望などがありましたら教えて頂きたいです。</p>
就職	○	<p>◇インターンシップの延長戦上で弊社に興味を持ってきて、就職につながる活動にして欲しい。</p> <p>◇貴校の学生で卒業後就職を検討している学生につきまして、いつ頃選考に臨む企業を決定するのかをご教示いただければ幸いです。</p>
	○	<p>◇どうすれば、就職先に選ばれるのか？</p> <p>◇就職活動にあたりまして弊社につきましてよろしくお願ひ致します。</p> <p>◇学生と企業双方のミスマッチを無くし将来の雇用につなげるためには、1週間の実習では短いと考えます。事前に希望職務のすり合わせを行い1ヶ月位の期間が必要であると感じます。</p>
その他 (含 質問 9)	○	<p>◇今年は3学科から1名ずつ受け入れました。受入期間中に担当教授との面談もありました。</p> <p>企業・学生にとっても良いことだと感じました。また、今回は卒業生との懇談を実施し将来の職業選択での参考になったと思います。</p> <p>◇今回初めて企画した内容でして、準備が不足していたかと思いますが、次回までに改善しますので、また来てください。</p> <p>◇今回正式に実施を開始したので、次年度以降にどのように繋げていけるかを検討しています。他社様の実施状況も知りたいです。</p> <p>◇今後もインターンシップの実施でたくさんの学生に来ていただき、学生のときには経験できないことを経験してもらいたい。</p> <p>◇専攻科の学生さんは、インターンシップ期間が長期であることが必須かと思いますが、弊社としては長期受入が難しいため、できましたら2週間程度の実習も認めて頂ければと思います。</p> <p>◇初めてのインターンシップ受け入れのため、当社の至らない点があったかもしれませんが、今後ともよろしくお願ひ致します。非常に良い学生に参加していただき、対応した若手の社員にも良い刺激がありました。</p> <p>◇弊社は受注品の設備を製作している為、時期により勉強する設備が少ない時があります。</p> <p>◇最終日にお二人の学生からプレゼンテーションを頂きました。我々にとっても安全面や品質面での気づきがありました。その側面からも大変に有意義でした。ありがとうございました。</p> <p>◇将来的な展望が開けてくるので、学生にとっては有意義ではないかと思います。また本学から見た場合でも、学生の進学確率も高まりますので、実施の効果は高いです。</p> <p>◇学生さんが一生懸命に取り組んでいる事を会社としても大変うれしく感じております。</p>

		<p>◇意思を持った学生であったため非常に受け入れを行いやすかった。理解力も高く指導しやすかった。</p> <p>◇今回のアンケートにおける回答は、実際に指導した部署（開発本部材料技術センタ）のチーム長の意見を主に反映した回答となっております。</p> <p>◇今回は弊社での初めてのインターンシップ受入でしたので、至らない点もあったと思いますが、担当をする弊社の社員自体も受入に際しての準備や指導について学ぶことができましたので、学生さんに対してだけでなく企業においても擬似的な新人研修の場にもなり非常に有意義でした。また、地域の盛り上がりといった点でも、若い力を得ることでより一層の効果を出せればと考えております。</p> <p>◇2016年 2017年と貴校のインターンシップ受入を行いました。が、人物面、知識面共に素晴らしく現場での評価も非常に高いものでした。就職の折には是非当社に入社頂きたいと感じる程、他校学生と比べて突出しているように思います。ご協力を賜り誠にありがとうございました。</p>
	○	<p>◇自動車メーカーではなく研究所である弊社をインターンシップ先として選ばれた理由を知りたいとの声が指導者からありましたので、可能でしたら教えていただくと幸いです。</p> <p>◇とにかくプログラミングが大好きそうな生徒様を優先して受け入れておりますが、結果、就職希望の生徒の方が一生件名に取り組み何事にも社員の話に熱心に耳を傾ける傾向にあります。</p> <p>◇御校に限らず全般的に感じることは”人として”最低限必要な「挨拶」「返事」を含めて元気がない！覇気がない！初めての IS 体験で緊張している事を差し引いても疑問符が付く・・・企業人は”対社会”の前に”対人”です。第一印象も重要であることを学校側でも少し指導をして欲しいと思います。</p> <p>◇今回の実習では、参加姿勢も良かったですが、堂々としたプレゼンテーションでの姿勢が素晴らしかったと感じております。専門性に加え、こうした社会性を身に付けた学生の存在は当社社員に対しても良い刺激になりました。ありがとうございました。</p> <p>◇インターン中に質問用紙を配布し質問がある場合は提出していただくようにしたいのですが、実際に参加いただいた方も分からないところは質問を書いて提出いただいたので、こちらとしてもどんな内容がいいのか改めて検討することができました。また来年度も参加いただけると光栄です。回答が遅くなり申し訳ありません。</p> <p>◇当社のメイン工場が沼津にあることもあり、貴学学生には是非お越し頂きたいと思っております。引続き何卒よろしくお願ひします。</p> <p>◇今回ご参加いただいた学生さんにつきまして、実験計画や準備、まとめまで主体的に行われ、挨拶もしっかりしていて、協調性・積極性をお持ちだと受入部署から大変評判でした。もし就職をお考えでしたら、2019年3月に会社見学を実施予定ですので、是非ご参加下さい。</p> <p>◇今回は工場の加工設備関連の実習を受けて頂きましたが、意欲的に体験されるとともに職場のメンバーとも明るく良好な関係を築いておられました。優秀な方で実習職場も高く評価しておりました。ご参加いただきありがとうございました。</p> <p>◇この度はインターンシップに参加いただきありがとうございました。当方としても初心を思い出す貴重な機会になりました。また機会がありましたらよろしくお願ひいたします。</p>

		<p>◇沼津高専からは先生の訪問がありました。学生の様子をうかがいさらにインターンシップ内容を充実させるためのヒントもうかがうこともできて非常にありがたかったです。</p> <p>◇現在の就職状況は売手市場に位置づけられるので、どうしてもネームバリューや大手企業に気持ちを持っていきがちですが、今まで自身が思いもよらなかった業種に参加してみることで、視野が広がることもあると思います。最終的に自分に合わないと判断する結果となっても、それは今後の就活や社会人になってからも大きな財産になりますので、アルバイトや仕事とは少し違った制度となるインターンシップを上手く活用して、自分の未来像をしっかりしたものにしてください。</p> <p>◇本インターンシップが、グループ実習によりチーム設計の流れを体得いただくプログラムにしているが、例年、高専生はグループの中心となって頑張っていた。今後も設計エンジニアを志す方にぜひご応募いただきたい。</p> <p>◇総合職採用と生産技術職採用の2つの入り口ができました。説明が不足しておりましたら</p> <p>◇このインターンシップをきっかけに働く職場の雰囲気を感じて頂き今後の進路選択に役立てれば幸いです。</p> <p>◇〇〇先生からのごあいさつメールや学生さんからのお礼のお手紙など、ご丁寧ありがとうございました。</p> <p>◇質問5については、窓口ではないので無回答にしました。</p> <p>◇急な案内にもかかわらず学生への早急案内により参加いただきました。ありがとうございました。事務局の方の丁寧なご対応に感謝いたします。</p> <p>◇マナーや態度が良く、弊社としても気持ちの良いインターンシップでした。医療機器の開発という仕事に興味を持って取り組んでもらえてうれしく思います。</p>
--	--	---

※ これらのご要望・質問に関する学校からの回答については、次の表に示します。

ご要望・ご質問に関する学校からの回答

項目	要望・質問	回答
歓迎	よろしくお願ひします。	こちらこそよろしくお願ひいたします。そのためにも、これからは忌憚のないご意見をお待ち申し上げます。
要項作り	ご要望がありましたらお聞かせください。交通費や宿泊代等はどうしたらよいものか	インターンシップという科目は、現実を見るための機会ですので、その場に行かなくては得られない「就業体験」ができることを希望します。費用については、就業体験だとは言え「学生としての学び」であるからには、報酬をもらうことは考えていません。報酬をもらうならばアルバイトです。報酬を貰わないからこそ学校からの単位を得ることにつながります。ただし、学生はお金がないものですから、もしも交通費や宿泊代の一部または全部のご負担をいただけるようであれば、お願ひしております。例えば、大学がインターンシップを実施する際には、交通費は全額学生持ちだが、宿泊は学生寮を使って安価にするといった例が見られます。

実施時期と実施期間	インターンシップ募集の案内を伝える時期、インターンシップの実施時期についてアドバイスをお願いします。 また、インターンシップ実施期間が5日間では短いと思うのですが、	沼津高専のインターンシップの年間スケジュールを付録2に示します。学生は主に4月から6月頃に行き先企業を選びますので、全学生にアピールしたければ4月中には案内を頂けるのが良いでしょう。なお、学生が気にしている企業については、昨年度と同じころまでには募集が来るものと学生は期待しています。 沼津高専の本科のインターンシップは夏休みの実施が標準です。残念ながら、本校の夏休みは固定されておらず、夏休み時期は年度ごとに異なります。それが確定するのは2月です。準備ができ次第Webにその日程を示しています。なお、ここ何年かの実績からは、8月中はすべて夏休み期間になっています。 インターンシップの期間は1週間または2週間が基本ですので、1週で短いとお考えなら2週間の研修をお考えください。学校としては研修先での30時間（これは6時間×5日間＝7.5時間×4日間）で1単位、60時間で2単位になります。2単位が上限です。
学生へのアピールの機会	（インターンシップに関して）学生へのアピールの機会がありますか？	残念ながら、2018年現在では、インターンシップ（や就職）に関して学生に向けたアピールの場は、沼津高専単体としては存在しません。 インターンシップに関しては、県内には静岡大学地域創造教育センターが中心になって進める文部科学省補助事業「COC+」によるインターンシップマッチング会が、沼津高専内で行われています。県内に事業所がある会社でそのマッチング会に参加をご希望の企業は、沼津高専校内のCOC+担当者にお問い合わせをお願いします。
学生の選定	参加する学生に対して希望があります	企業様から「もしも複数名の希望があった場合、当社への就職を考える学生を優先して欲しい」とのご要望があるのは無理からぬことだと思います。そういったご希望が要項内にご記載をお願いいたします。ただし、「インターンシップに参加しないことが、就職活動の不利に働くことがない」ようお願いします。 ただし、今までの実績を考えますと、インターンシップに参加した学生がその会社に就職する確率は約3割です。約7割の学生はインターンシップ先を就職先として選びませんことをご承知おきください。
学生の情報把握	事前に学生の能力や状況や希望を把握できれば微調整できます	インターンシップの要項にその旨のご記載をお願いいたします。
事務	◇事務局との連携をもう少し密に ◇事後に提出する証明書において記入できる所は埋めてから渡して欲しい	◇事務局という言葉がCOC+を指すものとしたら、その旨をCOC+に伝えておきます。 ◇本校から会社様をお願いする標準的な書類には、書けるところはすべて埋めてあり、事前に送付してございます。 ただし、特別に「当日学生が持参」といった書類については、学生が記入するものとして扱っております。ぜひ学生に必要な事項を記入するようにご指示をお願いいたします。

教員	来訪頂き有難うございます。	有難うございます。 予算の問題や教員の予定の都合から、「すべての会社にご訪問できる」というわけではございませんこととお詫び申し上げます。訪問は、学科応募の会社に対してインターンシップ実施初年度に行うのが基本です。それ以外の場合（2年目以降や、学校公募）には、殆ど計画しません。
事後の様子	実習後の学生の意見を聞きたいのですが	最終日に社内では報告会を設けて、その場で学生から必要事項を聞く会社様が多いです。最終日には遠慮なく研修最終日にと承知しております。 学校では学科内で学生に報告会をさせていますが、その会への会社様はご招待はしていません。条件を考えますと会社様のご参加は難しいと考えます。 なお、この文書の第7章・8章は社名が外されていますが、ご参考になるものがあるかと思われま。
就職	どうすれば就職先に選ばれるでしょう	大変恐縮ですが、文科省によるインターンシップ推進に当たっての基本的考え方によりますと、高専4年生の2月待つまでについてはインターンシップと採用活動は別物だとなっておりますので、インターンシップの場で就職のことはあまり触れたくありません。 とはいえ、実績を見ますと、インターンシップのうちの約3割は、その会社の就職につながっているという統計データがあります。
その他	◇専攻科の2週間の実施 ◇他社様の状況	◇専攻科にとって単位になるインターンシップは、16週間のものです。もしも専攻科の2週間のインターンシップが、単位にならなくても参加したいと思われるほど魅力的なものであれば、参加があるかもしれません。 ◇他社様の個別の状況を公表することはできませんが、この報告書では統計的なものを示してありますのでご参考になる部分があるかと思ひます。

6. インターンシップ参加学生からのアンケート集計結果

例年、インターンシップに参加した本校学生に対してアンケートを実施している。質問によっては微調整しているものの、基本的なところは同じ内容を継続している。これによって学生の意識調査および参加の実体を把握し、次年度以降の実施の参考としている。

平成30年度のインターンシップ学生用アンケート（集計項目）

(1) 主な実施内容 ※

①見学、②研修、③実技、④その他

(2) 期間中の宿泊場所

①自宅、②下宿、③社員寮、④ホテル、⑤その他

(3) 通勤方法

①徒歩、②自転車、③電車・バス

(4) 通勤時間

①30分以内、②1時間以内、③90分以内、④それ以上

(5) 受入企業でのまとめ

①プレゼン, ②報告書, ③面談, ④なし

(6) 参加した主な目的 ※

①単位取得, ②能力向上, ③就労体験, ④適性探索, ⑤その他

(7) 不足していたと感じる事前準備 ※

①安全・知的財産, ②企業研究, ③能力・姿勢, ⑤マナー, ⑥プレゼン能力,
⑦技能, ⑧その他, ⑨不要

(8) 自分の能力が向上した?

①はい, ②いいえ, ③どちらともいえない

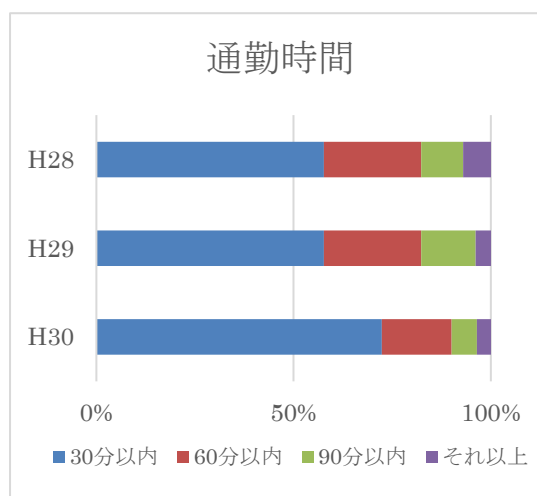
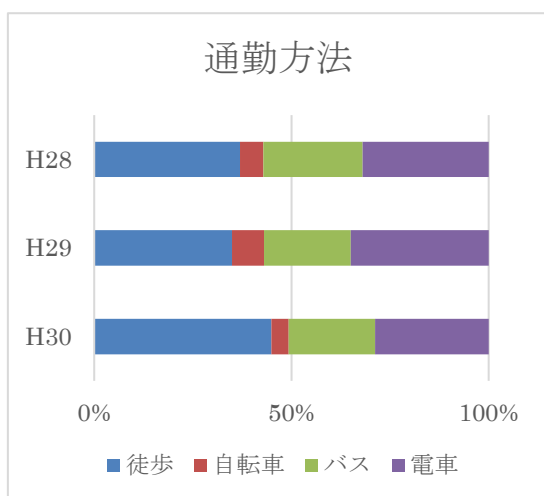
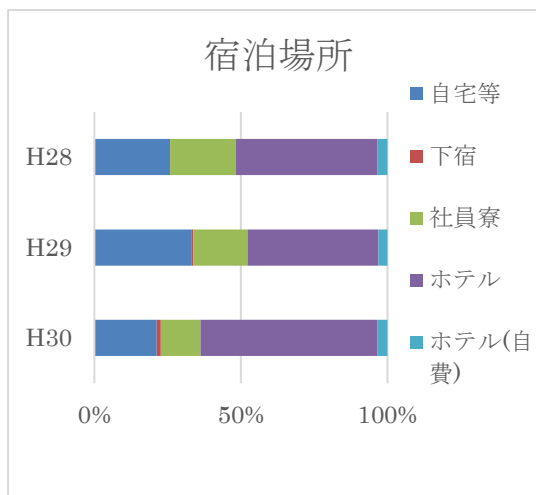
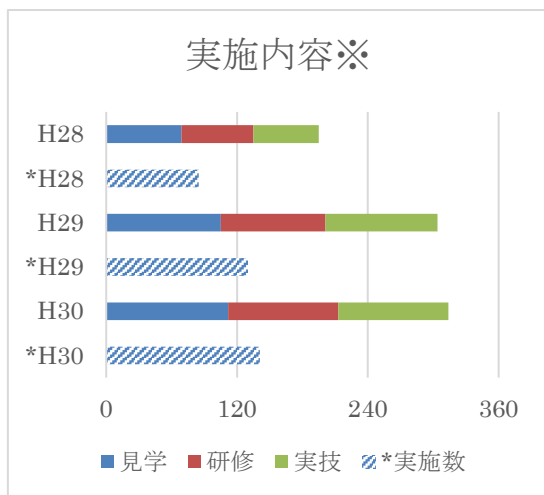
(9) 自らの適性がわかった?

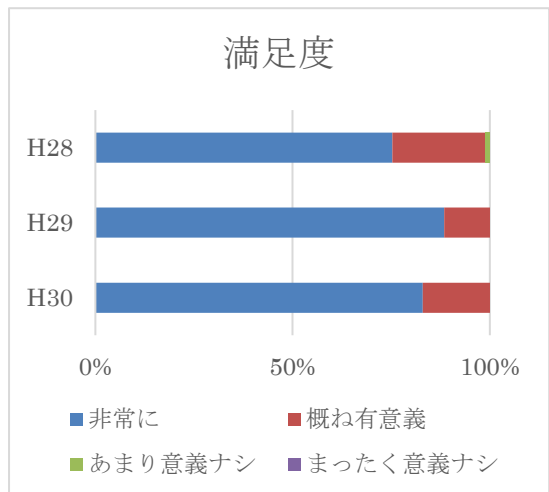
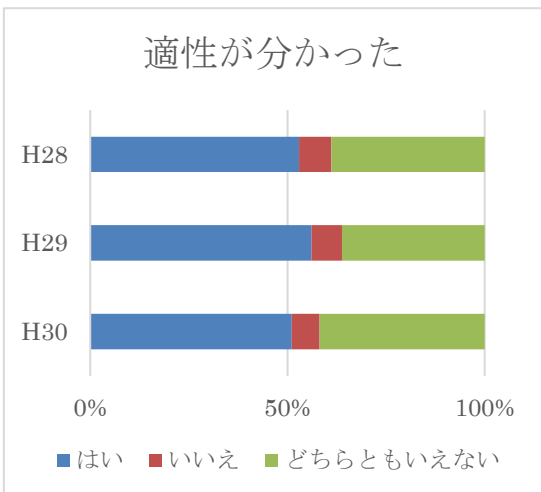
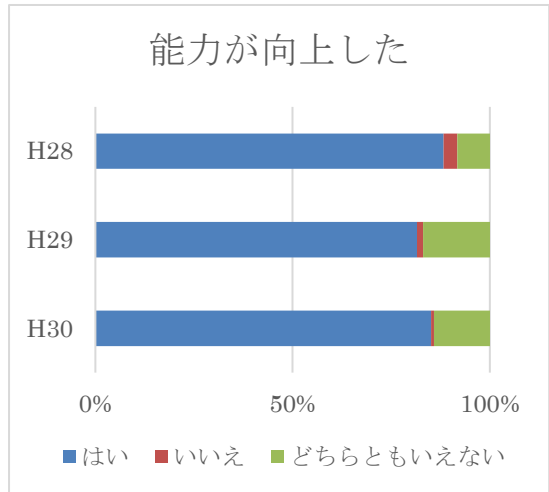
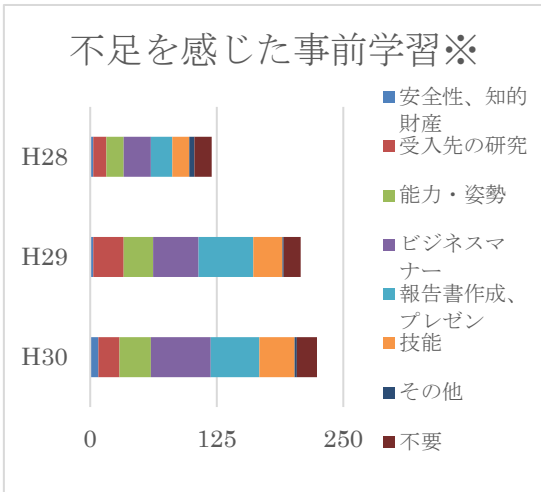
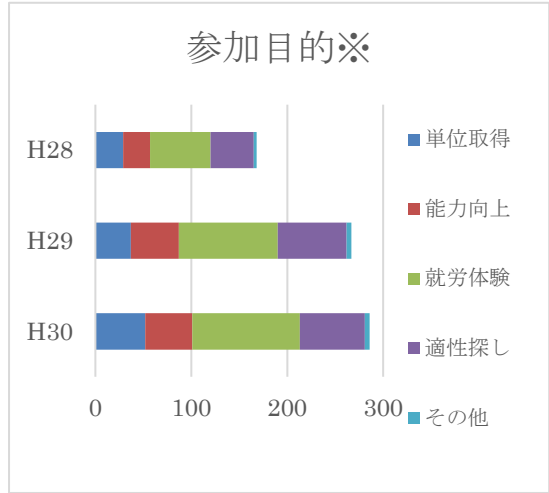
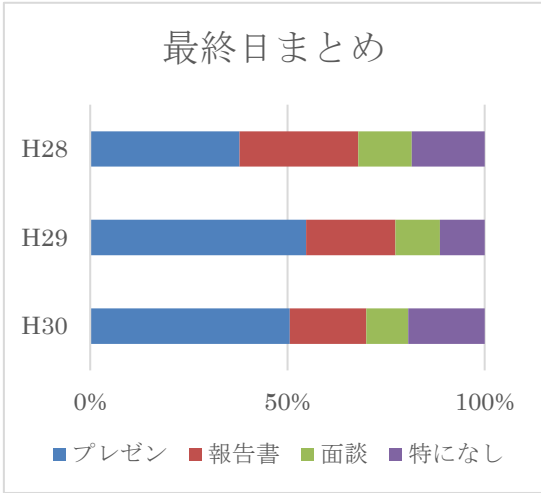
①はい, ②いいえ, ③どちらともいえない

(10) 満足度

①非常に有意義, ②概ね有意義, ③あまり有意義なし, ④全く有意義なし

※印付きのタイトルは複数回答であるため、横軸を人数とし、そうでないタイトルは一択なので横軸を比率とした。





(1) 実施内容概要（良いところ）

最後の項目である「満足度」を見ると、「非常に有意義」または「概ね有意義」という回答のみであり、学生は素晴らしい体験ができたと言える。また、学生はインターンシップを通して、まず殆どの学生が「就労体験」を目的とし、多くの学生は「能力が向上」したという成果を頂いている。

これらは、学生が素晴らしい体験ができているということであり、学生や積極的なかわりを持ったものと思われるし、受け入れ機関の方々や学内担当者のご尽力があったからである。インターンシップを支えて下さった皆様に深く感謝いたします。

(2) 実施内容概要（気になるところ-1）

ただし、気になるところがいくつか見られる。

まず、学生の目的には「就労体験」があるにもかかわらず、実施内容の中の「実技」は、全実施数に比べて約 8 割だという点に問題を感じる。実技は、インターンシップで行う「就業体験」の一番特徴的なものなので、実技と実施数は殆ど同数になることが期待される。

これについては、公募のインターンシップの場合は、比較的大人数の学生を受け入れ、その研修内容は会社主導で決めてしまうということによると推察される。学生は、企業が提示した要項をよく読み、体験ができる企業を選ぶことが必要である。

(3) 実施内容概要（気になるところ-2）

不足を感じた事前学習については、毎年のように同じアンケート結果を得ているので、毎年の事前研修で学生に伝えている。しかし、それが繰り返されている。これは更に強く学生に伝えることが必要である。

(4) 実施内容概要（気になるところ-3）

最終日のまとめに関して、「なし」と答えた学生が 2 割もいることが気になる。

もともと学生には事前研修において、「最終的には成果報告を担当に提出。ただし、企業での活動であることから事前に企業の方にその成果報告を見せ、学校に提出してよいとの許可をもらうように」と指示をしている。さらに、企業によっては企業独自の報告書を作るかもしれない。従って、全学生は 1 通以上の報告を企業の方に見せているはずである。にもかかわらず「特になし」という回答があるということは、どこかで何らかの誤解があるからだと思われる。

7. 学生からの意見・感想

参加学生からのアンケートに、インターンシップに対する要望や実施して気付いたこと、感想などを自由に書いてもらった。以下に、その主な回答をまとめる。必要な対応を取りながら、改善につなげたい。

27. 研修中の感想を入力(驚いたこと、印象的だったこと、新発見などを含め)

技術	<ul style="list-style-type: none"> - 工場の中でも思った以上に様々な仕事があった - 研究は失敗の連続で、それをいかに改善するかということが大切だとわかった - 世界初の実験を行っていることにとっても驚いた - 同じ分野でも仕事の仕方は様々あること - 企業の作るロボットはすごい
知識	<ul style="list-style-type: none"> - 高専で行った実験などの知識や技術が現場でもかなり使われていて、驚いた。 - 自分の専門でない分野も担当しているということ。 - 学校で習ったことを活かすことが出来なかった - 業務内容を聞き、高専で学習した内容がほとんど必要ななかったこと。 - 現場では専門知識を活用することが少ないことを知ったこと
安全管理や働き方	<ul style="list-style-type: none"> - ルールの徹底、徹底的な点検に驚いた - 工場の安全だけでなく、製品を使うお客さんの安全(品質管理)まで徹底していた - 一つの製品が出来上がるまでに多くの人が努力してより上を目指し改善していること。 - 製品をただ売って終わるのではなくその後のアフターフォローやメンテナンスにすごく力を入れておりお客様との関係をすごく大事にすること。 - 国家資格が必要。 - 業界に厳しいルールが存在すること。衛生管理やセキュリティーの厳重さ - 朝が早い - 仕事を平行して行っていた - 作ることしか考えてなかった。販売して利益を出すという考えが新鮮だった
英語	<ul style="list-style-type: none"> - マニュアルが全て英語で書かれていた。 - 英語をもっと勉強しなければと向上心を持つ事ができた。
他	<ul style="list-style-type: none"> - 見学中に疑問に思ったことをどの社員さんに聞いても細かく説明して下さり、どの人も原理を理解した上で仕事をしていたことに驚いた。 - 思っていた以上に高専卒の先輩がおり、活躍ぶりを実際の目で見て確認できた。 - 普段関わることのない全国の高専生と関わったこと - 高専卒の人が実際に職場でどのように働いているかを見ることができ、良かった。また、会社で必要な能力について知ることができた。 - 様々な社員の人たちと話し合うことで社会の厳しさやこれからどうすべきかをよく考えることができました。 - 自分の専門ではない分野の知識も他の部署と関わる上で学ぶことができるということが印象的だった。 - 興味のあった機器には女性が少ない(配属され難い)ということが分かり就職先を考える上でとても参考になりました。またサービスセンタ実習で働いている方の話を聞き、実際の労働状況について聞くことができました。 - 沼津高専卒業生の方々の話を聞く機会があり、これからの自分の進路などを決めるよいきっかけとなった。 - 現場での機械点検は非常に楽しくやり甲斐を感じられた。逆に、品質管理についてはあまり興味がわかず、楽しさも薄かった。このように、自分が何に興味を持ち何を楽しめるのかということが具体的に把握でき、素晴らしい経験になったと思う。 - 社内で流れるラジオ体操が楽しかった

28. 研修中に困ったことを入力

生活	<ul style="list-style-type: none"> - 朝が早くて起きるのが大変だった - 交通で困った（迷子など） - キャリーケースを持っていかなかったこと - 食事を自分で準備しなければならなかったこと - 忘れ物をすると家に取りに帰れない。 - 思ったよりも食費などがかかった。 - 体調を整えないと連日の出勤は辛いかもしれません。 - スーツのワイシャツを多く買っておくと良い。 - 慣れない革靴・パンプスのよる靴擦れ - 作業着の洗濯が大変だった
マナー 連絡 相談 プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> - ビジネスマナー - 年上の方ばかりで少し話しづらかったです。 - 懇親会の際の話し方 - 一人だけだったので気まずかった。 - 内容をまとめるときに上手く文章に出来なくて困った - プレゼンの作成・仕方・質疑、メールの送り方 - 日報作成が遅く定時を過ぎてしまうことが多かった。人とのコミュニケーションを取れなかった(質問に対して訳のわからないことを答えてしまう)
技術	<ul style="list-style-type: none"> - java・Python・web への知識がなく、手間取った。 - 設計で寸法を間違えた - 専門用語のボキャブラリーの少なさ - 一度学んだことのある内容でも忘れてしまっている部分もあり、しっかりと復習をして定着させておかなければいけないなと思った。 - もっと回路について理解を深めていれば、より有意義な時間になったと思います
他	<ul style="list-style-type: none"> - 交通費の支給があることが突然わかるなど事前の情報が少し少なかったです。 - 取ったメモをまとめること - 周りとの今までの経験の差。 - 会社の方が準備してくれた日程ごとでも綿密で、プレゼン資料づくりの時間を確保するのに苦労した - もっと技術を持っていれば、より新しい知識に触れることができたと思う。 - 事あることに質問ありますか。と聞かれるのであまり普段から質問しないタイプの私は戸惑ってしまった。 - 高専に提出する書類の書き方 - 設計書や仕様書を何度も書き直すことがあり、うまく進めることが難しかった - 分野が違って全てが新しいことだった。経験を持った他の高専生が活躍していた。 - 宿泊施設で食事提供が無くなるのがたびたびあり、宿泊施設で自炊が出来なかったため少し不便であった。

29. 学校への意見、要望、現在の気持ちなど自由に入力

参加	<ul style="list-style-type: none"> - 良い機会だった - 院生の方との意識の違いを実感できた。 - 知らなかった世界が体験でき、就職のイメージ作りによい経験になった。 - 進路を考える良い機会。特に希望の職業等があるなら、それに近いものを。 - 就職のためだけでなく、貴重な経験としてもっと推奨できる - 県外へのインターンも魅力。知らない同年代との交流や新しい地での生活。 - 強制にしても良いかも。後悔しません。後輩にも積極的に勧めたい。 - 私が参加した会社は、沼津高専だけが多くの学生を応募してきたため、選考に苦労したらしい。他高専では、応募にあたり校内選考を行なっているようである。
支援	<ul style="list-style-type: none"> - インターシップマッチング会を開いていただきありがとうございます - マッチング会はもっと学生の負担が少ない日時にして欲しい - 書類、報告書作成などが分かりにくい。もっと説明やサポートが欲しかった。 - moodle の情報が多すぎて、少しわかりづらかった。 - インターンシップ募集リストを見やすくして頂きたい。(ジャンル別など) - もっと早く受け入れ先を公開してほしい。 - 事前の電話や、お礼のメールなどの指導をしてほしかった。
学習	<ul style="list-style-type: none"> - ビジネスマナーをもうすこしやってほしかった。 - 事前研修が役立った。いろいろ準備して頂いて有難かった - 英語に力を入れて欲しい - 高専で学んできたこと(実習関連)が非常に活きた。 - 事前研修や資料を配布するなどしてメールの体裁やプレゼンのポイントなどをやってくれれば、良かったのではないかな。 - 少し、履歴書の提出する期間を延ばして欲しいです。
反省	<ul style="list-style-type: none"> - 目的をもっとはっきりもつべきだった - 交通費について双方で誤解があった。しっかりと確認をするべきだった。 - 事前情報の少なさが少し気になりました。 - 同じ企業に行く同じ学校の人を事前に把握しておきたい - インターンシップの公募に出る企業に対しての知識をつけて欲しい。 - Power Point でプレゼンをする機会をもっと増やすべき - 履歴書の添削や、採用結果などの現状把握が遅かった。もう少し情報がほしい。
総括	<ul style="list-style-type: none"> - インターンシップを通して就職する時の考え方や実際に社会に出たときの働き方などを学べてとてもいい経験になりました。 - 社会人になる上で自分の足りない能力が分かった。学生であるうちに成長したい - 自身の能力不足を感じ、専攻科に進む選択肢を考えた。 - 就職に対するモチベーションが上がった。 - 進路について自分の気持ちが固まりつつある
感謝	<ul style="list-style-type: none"> - 担任の先生の声掛けやサポートによって貴重な経験ができた。 - 応募が来る前から相談したことは良かった。 - とても有意義な体験となった。手続き等していただきありがとうございました。
他	<ul style="list-style-type: none"> - 2社ぐらい行けるようにできたら嬉しい - 学科によって言われていることが異なり戸惑った。 - 夏休み時期や期末試験時期は、インターンに最適でないのでは。 - 夏季一斉休暇時期は教職員との連絡が取りにくくなるので、注意すべき。 - 興味のあった分野(機器)には女性はあまり向かないことがわかり、進路を改めて考え直す必要があると感じた。 - 過去で同じ会社を受けた人の具体的な意見が欲しい

	<ul style="list-style-type: none"> - 休みが終わってからもインターンシップが続いたが、他の大学や高専の中には、沼津と違って公休が認められた学校もあった。 - moodle にて、あるインターンシップの募集が昨年度もあったときは実際に行った人の感想なども参考にできたらよかった。 - 条件に関してはきちんとした確認が必要。
--	---

30. 受入機関への意見、要望、現在の気持ちなど自由に入力

感謝	<ul style="list-style-type: none"> - 見学前後や、実習休憩中の質問に、担当教官の方がとても真摯に答えてくださり、自分の感じた疑問や不安はすぐに解決できました。5日間対応して下さった皆さまには本当に感謝しています。 - 自分の中の会社のイメージが少し異なっていたが、色々な企業を体験できて良かった。今回初めての受け入れをしていただいたそうで、実習中のサポートも仕事でもしてくれて、非常に充実した実習になった。 - わからないことだらけの自分たちに1から説明してくれたことが嬉しかった。 - 全体的に連絡が遅くて戸惑うことが多かったが、受け入れて頂けて感謝です。 - 丁寧に指導してくださり良い経験になりました - 会社で必要な能力やどのように働いているかなど、インターンシップ本来の目的通りの実施内容で、有意義な時間を過ごすことができた。 - インターンシップ生一人一人を見てくださってありがとうございました。 - 現場での実習がとても良い経験になりました。ありがとうございました。 - 資料作成の時間が十分に取られていて、発表までゆとりがあって良かった - とても親身に接して頂き、さまざまな経験を楽しく体験できました。懇親会等でのお話もとても参考になりました。ありがとうございました。
利点	<ul style="list-style-type: none"> - 実際に働いているOB社員の話が聞けてとてもよかった。 - 実際に製品を作っている工場を見たことがなかったのでとてもいい経験になりました。 - 実際に働いている人から話やアドバイスを聞けて、自分の将来への考えがより深まった。 - 自分の足りないところ、習ったものがどこに使用されているかよくわかった。 - 業務として様々な装置を使いながら分析工程の事も知り、良い経験となった。 - 実際と現場へ行かなければ聞けない話や体験をすることができてよかった。 - インターン用のプログラムでなく、実際の仕事に同行できたので良かった - 自分の得意不得意を意識できた。また仕事に大切なことを深く知れた。 - これからの勉強に対する意欲が湧いた。ありがとうございました。 - 進路選択の参考になりました - トラブルに対する対策案を考え、エンジニアの視点を知ることができた。
理解	<ul style="list-style-type: none"> - 仕事の責任を理解するいい機会になった。 - 保守・点検の仕事が自分の事前のイメージと違い、とても新鮮で貴重でした。
改善	<ul style="list-style-type: none"> - 参加受け入れ可否の連絡をもう少し早めてほしい - 服装など必要な物の説明があったほうが良いです。 - 洗濯機だけでなく乾燥機も使えるようにしてほしいです。
他	<ul style="list-style-type: none"> - ライン作業が多く、体力的にきつい部分があった - もう少し工作機械に触れたかった。現場の人に教わりつつ機械操作したかった - 憧れである工場での研習はとても楽しくて就職したいと思いました。 - 今回のインターン先は1週間では回るこのできないところが多かったので期間を延ばして欲しかったです。 - 昼に御馳走してくれるのはありがたかったが偉い人との対面は緊張大だった。 - PM(プロジェクトマネジャー)の話を伺ってみたかった。

<ul style="list-style-type: none"> - もっと勉強が必要だと感じた。 - 貴重な体験をし、就職に対する視野が広がった。 - 食事について、インターンシップ研修生専用のメニューが用意されていたが質素で、社員用のメニューとは違っていた。(自費出費でよいので、)社員と同じものを食べたかった。 - 自社でホームページを持たない会社に対して、事前に会社のことをどうやって調べたらよいのか教えて欲しい。

8. 3年生対象のインターンシップ説明会

受入機関・参加学生から提出されたアンケートを集計した後、次年度インターンシップに参加する現3年生を対象として、下記の要領でインターンシップ説明会を行った。インターンシップの公募は4月早々に始まるので、アンケート結果等も参考に、春休み中に実習先を検討するよう学生に指導した。

なお、COC+によるインターンシップマッチング会は例年12月に実施されているが、平成30年度にはそれに伴う説明会を整理したことによって、学生に同様の話しを2回聞かせるということを経ずに済むようになった。

<p>平成29年度、3年生向けインターンシップ説明会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日時：平成30年1月17日(水) 14:50～16:00 2) 場所：視聴覚教室 3) 内容： <ul style="list-style-type: none"> 14:50 概要説明(COOP教育委員長) 15:05 各学科の実施報告(各学科4年担任教員) 15:45 質疑・応答 4) 配布物：なし 5) 補足 この年度の12月頃には、COC+によってインターンシップマッチング会が実施された。さらにその前の週にはCOC+から3年生に向けてインターンシップに関する簡単な説明会が実施された。
<p>平成30年度、3年生向けインターンシップ説明会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日時：平成30年11月14日(水) 14:50～16:20 2) 場所：視聴覚教室 3) 内容： <ul style="list-style-type: none"> 14:50 本日のスケジュール(COOP教育委員長) 14:53 緒注意(主事) 14:58 概要説明(COOP教育委員長) 15:10 各学科の実施報告(各学科4年担任教員) 15:55 インターンシップマッチング会について(COC+) 16:10 質疑応答 4) 配布物：なし 5) 補足 この年度の12月には、COC+によってインターンシップマッチング会が実施された。COC+単独の説明会はこの年度には実施されなかった。

上記日程のうち、COOP教育委員長からの説明の概要は以下の通りである：

(インターンシップとは何か、企業アンケート集計結果、企業からの指摘、学生アンケート集計結果、インターンシップ関連情報収集方法(Moodleの活用)、受入機関より学生に伝えたいこと、今後のスケジュール。)

9. インターンシップの総括

インターンシップは選択科目であるが、そこで貴重な体験ができることが学生にきちんと伝わるようになり、学生の半分以上が行くことが定着してきた。そして、学生の感想からも分かるように、良い体験をした学生が大半であることが伺える。「行った会社にはミスマッチだった」というのも体験して初めて知ることができる重大な成果である。今後もますます有意義なインターンシップであるようにしたい。

インターンシップを受け入れる企業数も増え続けている。その理由の一つは、採用につなげたいということである。特に COC+は、もともとが静岡県内に就職する学生を増やしたいというところから始まっている。ただし、注意しなくてはならないことは、インターンシップと就職はイコールではないということである。文部科学省は「インターンシップが就職・採用活動そのものとして行われることのないようにする取扱いは維持」としており、本校もその方針に従っている。

最後に、本校のインターンシップは、下記に示す教職員の多大なる尽力により実施されてきました。ここに感謝の意を表します。

	平成 29 年度	平成 30 年度
校長補佐 教務主事	小林 隆志	
機械工学科 4 年担任	三谷 祐一朗	永禮 哲夫
電気電子工学科 4 年担任	眞鍋 保彦	小村 元憲
電子制御工学科 4 年担任	大沼 巧	牛丸 真司
制御情報工学科 4 年担任	長縄 一智	山崎 悟史
物質工学科 4 年担任	古川 一実	山根 設子
専攻科長	高野 明夫	稲津 晃司
～センター長	キャリア教育センター長 芳野 恭士	キャリア支援センター長 高野 明夫
教務係長	影山 訓子	
教務係	佐藤 美紀	
COOP 教育委員長	川上 誠	望月 孔二

令和元年 7 月
沼津工業高等専門学校 電気電子工学科
COOP 教育委員会 委員長
望月 孔二

付録 1. 「静大発 “ふじのくに” 創生プラン」 事業における沼津高専の取組み

文部科学省が地域の活性化のために、平成 25 年度より「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 COC+」を開始した。そして静岡大学は平成 27 年度、「静大発 “ふじのくに” 創生プラン」と題した人材育成事業を起案し、採択された。

沼津高専はその事業に参画する一機関である。本校はその専任スタッフとして事業推進コーディネータおよび補佐要員を新たに雇い、その活動を進めている。

学生が享受できる支援は、3年次の全学生が「インターンシップマッチング会」を体験できるようになったことである。これは、学生のインターンシップへの興味を高めることに効果があるものと考えられる。

インターンシップマッチング会は、平成 28 年度から始まり、現在も継続されている。そのマッチング会を最初に体験した学生が 4 年生になったのは平成 29 年度である。また、そのマッチング会を最初に体験した学生が就職活動をするのは平成 30 年度であった。

今回の報告書では、就職先とインターンシップマッチング会の因果関係は分析しないが、どこかでその分析を行って学生のキャリア支援にフィードバックする必要がある。

付録2. 平成31年度(令和1年度)インターンシップスケジュール(予定)

4月

4年新担任教員との新年度インターンシップ事前打合せ, 担当引継ぎ
インターンシップ募集案内掲載開始(学内 Web)
学科毎のインターンシップガイダンス
行き先希望調査

5～6月

担任教員による企業への交渉
必要書類(履歴書含む)作成・企業への応募

7月

事前レポート作成
インターンシップ事前研修会(全体・クラス毎)

7～8月

インターンシップ実施(7月中旬～8月末が夏期休業)
教員による視察

9月～10月

受入機関からの評価
参加学生のインターンシップ報告書提出・報告会(学科毎)
参加学生に対するアンケート調査
受入機関への礼状送付・アンケート調査

1月

3年生対象インターンシップ説明会(概要・データ紹介・反省・注意等)

2月

インターンシップ報告書作成・受入機関への通知
担任教員によるインターンシップの評価

3月

単位認定

付録 3. 学外実習生学生心得

学外実習（以下「実習」という）は企業等において実際の工業技術を体得するため、専門課程の一環として履修するものであり、実習に従事する学生はこの心得を守らなければならない。

1 学生は、この心得のほか必要な事項、細目について、実習開始前に学外実習指導教員の指示を受けること

2 学生は、実習先の監督者の指導を受けるとともに、次に掲げる事項を守り、実習の目的を十分に達成するよう心がけること。

A) 規律

ア 出退勤時間、休憩時間を守ることを、無断で欠勤、遅刻、早退等は絶対にしないこと。

イ 社内規律、作業内規等の規則に従うこと。

ウ 学生として良識ある行動をとり、礼節を守ること。

エ その他社内秩序を乱さないよう留意すること。

B) 社内機密保持

ア 無断で製品、図面等社内の写真撮影をしないこと。

イ 無断で指定以外の場所に立ち入らないこと。

ウ 許可なく、製品、研究、文献、ソフトウェア、図面、談話等を社外に漏らさないこと。

エ 教員へ提出する報告には、企業秘密事項を含めないこと。

C) 安全保持

ア 監督者の指示・説明に従い、独断で作業をしないこと。

イ 実習先の作業心得、安全心得をよく守り、細心の注意を払い、事故を起こさないよう心がけること。

ウ 万一、事故又は異常事態が生じた場合は、直ちに、監督者に報告するとともに、すみやかに指導教員に連絡すること。

D) 作業態度

ア 監督者の指示に従い、独自の行動はとらないこと。

イ 実習先の社員等に対しては、努めて謙虚な態度で接すること。

ウ 必要以外の設備等には手を触れたりしないこと。

エ 実習期間中は、毎日、作業の終了を監督者に報告すること。

E) 用具の使用

ア 無断で社内の用具を使用しないこと。また、使用後は必ず元の場所に返しておくこと。

イ 許可なく物品の搬入・搬出をしないこと。

3 学生は、実習期間中、常に指導教員と連絡を保つとともに、実習内容の変更があった場合は、速やかに指導教員に報告すること。

4 学生は、実習終了後、実習報告書を実習先に提出するとともに、すみやかに経過を指導教員に報告すること。またその際、企業秘密事項が含まれていないかを確認すること。

学生生活の手引き（平成 30 年度 p.50）より抜粋

改定の記録

令和 1 年 7 月 10 日初版

令和 1 年 10 月 7 日訂正（訂正は 2 箇所）

場所：p.16 表の上から 3 段目右側の欄の 1 行目から 2 行目にかけて

正：インターンシップ推進に当たっての基本的考え方

誤：インターンシップ推進**荷**当たっての基本的考え方

場所：p.16 表の上から 4 段目右側の欄の 1 行目から 2 行目にかけて

正：専攻科にとって単位になるインターンシップは、16 週間のものです。

誤：専攻科にとって単位になるインターンシップは、16 **ヶ月**のものです。